

学習内容報告書

学校名	階上町立大蛇小学校
授業者	八戸工業大学 准教授 鮎川恵理

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海とかかわる大蛇のよさを発見しよう ～南極の氷体験学習～

1-2. 学年

全校

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習・生活

1-4. 単元の概要

「海」または、地域の特色に関連した地域の自然や文化などの特徴を生かした学習活動を工夫する。

体験活動を中心に海とかかわりの多い大蛇の地域のことを知り、海の産業・環境・大蛇の海の未来のことを考えることができるようにする。また、大蛇海岸はみちのく潮風トレイルにも含まれているので、隣の種差海岸（種差トレイル）を歩くことで、三陸復興国立公園の自然の様子を学ぶことができる。これらのことが、海洋教育の4つのキーワード「海に親しむ」「海を知る」「海を利用する」「海を守る」につながり、大蛇の誇りをもった子供が育つ。

1・2年は、大蛇の地域のことを知る
3・4年は、地域の自然とそれを守る人々を探る
5・6年は、地域の産業とそれに携わる人々の思いや願いと地域の未来について考える。

学年ごとに以上のような探究課題をもって学習を進める。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

- 海にかかわる大蛇の地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴や良さに気付き、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- 海にかかわる大蛇の地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調べて得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを根拠を明らかにして、まとめ・表現する力を身に付ける。
- 海にかかわる大蛇の地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自ら進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

○知識及び技能 地域の産業のよさと課題及びそれに携わる人々の願いがわかる。
○思考力・判断力・表現力 自分の関心から地域についての課題を設定し、解決方法を考えて追及している。 相手や目的、意図に応じて工夫してまとめ、表現している。 学習の仕方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。
○学びに向かう力、人間性等 課題の解決に向けて目的意識をもって、意欲的に取り組んでいる。 自分のよさや自分にできることに気付いている。 自分と地域とのつながりに気付き、地域の活動に参加しようとしている。

1-7. 単元の展開（全34時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
8	◎全校遠足（全校） 【事前活動】 1 ・ふれあい班ごとに活動することを決める ・目当てを決めてワークシートを作成 【全校遠足（種差トレイル）】 6 ・葦毛崎展望台から種差海岸までをふれあい班ごとに歩く ・種差海岸で昼食 交流活動 散策 ゴミ拾い 【事後活動】 1 ・振り返り、新聞・作文等にまとめる	
2	◎海岸清掃（全校） ・大蛇漁港から追越漁港にかけての海岸線と漁港 ・学校前の大蛇海岸を4つの班に分かれて清掃活動にあたる	○八戸警察署生活安全課 ・リトルジャンプの活動と連携
15	◎種差宿泊学習（4年・5年） 1泊2日 ・タイヤチューブのいかだづくりといかだ遊び ・ナイトハイク（種差少年自然の家周辺） ・磯遊び（カニ釣り）	○種差少年自然の家の職員のお手伝い ・小舟渡小、道仏小の児童と合同で行う ○道仏小学校・小舟渡小学校教員と一緒に指導

4	<p>◎船釣り体験（4年・5年・6年）</p> <p>【事前指導】 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釣り竿の準備・仕掛けづくり・安全指導 <p>【船釣り体験】 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大蛇漁港の沖合でかれい釣りを体験 ・戻ってからワークシート等を活用して振り返りを行う 	<p>○坂下釣具店の協力を仰ぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釣り船3艘 釣りの指導はそれぞれの船長さん ・釣り竿、カレイを釣るための仕掛け、エサ <p>○安全に気を付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフジャケットの着用
4	<p>◎ウニの殻むき体験（全校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大蛇でとれるウニのお話 ・ウニの殻むきの仕方の説明 ・殻むき体験 	<p>○階上漁協荒谷部会と婦人部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大蛇でとれるウニ
1	<p>◎南極の氷体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南極の氷に実際に触れる ・氷が解けるときの音を聞く ・南極のお話（昭和基地に滞在した時のお話） <p>講師 鮎川先生</p>	<p>○講師 八戸工業大学 准教授 鮎川恵理</p> <p>○八戸海上自衛隊から贈られた南極の氷</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- 南極の氷に実際に触れたり、南極の気候や自然などのお話を聞いたりすることで、自然を守り育てることへの意欲を高める。
- 自分たちが住んでいるところと南極では、自然環境や動植物が違うことを理解し自分たちの海を守ることが南極の環境を守ることにもつながることに気付くことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<ul style="list-style-type: none"> ○南極の氷贈呈式 <ul style="list-style-type: none"> ・第 61 次南極地域観測協力行動（2019. 11. 12～2020. 4. 10）で採取してきた氷 ○南極の氷を使った体験 <ul style="list-style-type: none"> ・水に入れて音を聞く パチパチと音がする（数万年前の空気） ・触った感触や見た感じ ・氷を採取した場所 ・いつ頃の時代の氷か ○南極のお話を聞く <ul style="list-style-type: none"> ・南極の位置 ・昭和基地の位置 ・南極の気候 ・南極の自然環境や生き物 ・昭和基地での生活 ・鮎川先生が研究していたこと（南極のコケ類の研究） ○感想発表とお礼の言葉 ○振り返りカードの記入 	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸海上自衛隊から南極の氷の贈呈 ○講師 八戸工業大学 准教授 鮎川恵理 <p>評価: 普段使っている氷との違いや水に入れた時の音に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テーマ「私の南極体験」 <p>評価: 南極での生活や自然環境など大蛇とは違うことに付き、大蛇の海も大切にしようとする。（発表・カード）</p> <p>評価: 南極という特別な地域の自然などへの興味関心が高まったか。（カード）</p>

3. 今回の活動の自己評価

- 南極の氷に触れることができ、とても貴重な体験になった。
- 鮎川先生の昭和基地での体験談は、児童にとってとても新鮮で南極への興味関心が高まった。
- 南極の調査隊は、いろいろな仕事の人たちが行っているということがわかり、どんな職業についても自分のやりたいこと（夢）をもって取り組んでいけば南極に行くチャンスがあるということがわかり、キャリア教育の面でも有効であった。
- 自分たちの海を守っていくことが、南極の環境を守ることにもつながっていくかもしれないということを理解できた。（海をきれいにしていこうとする意欲が高まった）
- 鮎川先生のお話は、写真をふんだんに活用していたので、南極での様子がとてもよく分かった。

4. 今後の課題

- ▲大学の先生なので、低学年には少し難しいところがあった。（理解しづらいお話）
- ▲いただいた南極の氷を使ってもう少し何かできるとよかったと思う。（触ったり音を聞いたりするだけでなく）

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。



南極の氷を自衛隊の方から贈呈されました



触ったり音を聞いたりしました



鮎川先生から南極に行った時のお話を聞きました



感想をしっかりと話すことができました





3年生は、総合的な学習のまとめで体験してきたことを考えながら、海に関する標語や図を描きました。